

○本学におけるこれまでの支援

- ・ 3月11日から3月13日まで、医学部附属病院のDMAT（災害派遣医療チーム）が香川県の要請で、福島県福島空港において、被災者（患者）の広域搬送を実施。
- ・ 3月14日 文部科学省より、被災文教施設応急危険度判定士の派遣について依頼があり、本学の有資格者を報告。具体的な派遣については先方で調整中。現在のところ要請なし。
- ・ 3月15日から3月21日まで、日本放射線技師会の要請で、医学部附属病院から、放射線部技士1名がサーベランス支援のため、福島県郡山市において、現在、支援活動中。
- ・ 3月15日 文部科学省より、「要援護者等の県外避難についての受け入れ施設数調べ」の依頼。本学の状況を調査して回答。現在のところ要請はなし。
- ・ 3月16日 国立大学協会からの要請により、東北大学への救援物資の供給。物資は中国四国地区の大学分を取りまとめ、岡山大学から搬送し、3月19日に東北大学に到着。  
また、医学部において食料等の搬送を実施。
- ・ 3月18日～3月末日の期間に学内教職員等を対象に義援金を募り、総額4,470,467円を、4月19日に日本赤十字社香川支部へ学長が持参し、寄託した。現在も募金を継続中。  
また、学生2団体（「Let's help Japan!! PROJECT」「SOKUS（香川大学学生災害復興支援団体）」が、学内及び街頭募金等の活動を実施中。
- ・ 後期日程試験受験のために、震災前に仙台から高松に来ていた受験生が、震災後に仙台市内在住のご家族と連絡が取れなくなってしまったため、宿泊施設として幸町会館を提供。3月14日～3月23日まで滞在。
- ・ 3月21日より香川県の要請で、医学部附属病院から、医師1名、看護師2名等で構成される救護班（4班）を宮城県に派遣。
- ・ 3月20日～3月27日の期間に、警察庁及び日本法医学会の要請で、医学部法医学木下教授が、岩手県盛岡市において、検死活動支援活動を実施。
- ・ 3月31日 石田病院長、黒田救命救急センター長（DMAT 及び救護班1班リーダー）及び横井医療情報部教授（救護班2班リーダー）が、学長へ支援活動について報告。

- ・ 4月6日付で厚生労働省健康局水道課長から依頼を受け、千葉県の水道水中の放射性物質の検査を、研究推進機構総合生命科学研究センター放射性同位元素実験部門の教務職員が継続的に実施している。
- ・ 4月20日～4月24日の期間に、医療情報部非常勤教員が、香川県医師会及び岩手県遠野市の要請で、岩手県遠野市及びその他周辺地域における遠隔医療ネットワークインフラ構築のための調査を実施。
- ・ 4月2日～4月3日の期間に、危機管理研究センターが東京湾沿岸及び房総半島沿岸において、東日本大震災による被害状況の調査を実施。
- ・ 4月6日～4月10日までの期間に、学生ボランティア団体「Let's help Japan!! PROJECT」の学生3名と卒業生1名の計4名が、宮城県山本町役場に赴き、必要物資を提供。
- ・ 4月7日から、被災児童1名を教育学部附属高松小学校へ受入を実施。
- ・ 4月14日～4月20日までの期間に、工学部学生が所属するボランティア団体が企画する「東北被災地激励キャラバン隊」に参加し、宮城県石巻市へ赴きボランティア活動を実施。
- ・ 4月28日に、危機管理研究センターが、災害ボランティア志望者（行政、一般、学生の別は問わず）を対象に、「ボランティアのためのメンタルヘルス講習会」を開催。
- ・ 5月6日に、文部科学省の「子どもの学び支援ポータルサイト」を活用し、教育学部附属高松中学校から宮城県石巻市立住吉中学校へ竹刀20本を送付し支援を実施した。
- ・ 5月7日～5月11日の期間に、香川県歯科医師会及び岩手県警の要請で、歯・顎・口腔外科医師2名が、岩手県において、歯科検案活動支援を実施。
- ・ 5月12日に、教育学部附属高松小学教頭が、児童のお小遣い等から募った義援金（55,340円）を児童会長（児童）と共に、日本赤十字社香川支部に持参し、寄託。
- ・ 5月13日に、高松市中央卸売市場の招請により、原発災害による風評被害の防止を目的とした放射性物質に関する基礎知識や生鮮食料品の安全・安心に関する研修会へ講師を派遣。

- ・文部科学省からの要請により、研究推進機構総合生命科学研究センター放射線同位元素実験部門の教務職員1名が、5月24日～5月28日、6月5日～6月10日、7月21日～7月26（予定）に、福島県において、放射線スクリーニング検査支援を実施。
- ・6月13日に、危機管理研究センターが、東日本大震災を踏まえた香川地域防災への緊急提言として、記者発表を実施。
- ・6月17日に、医学部において教員と学生が、医療支援チームや学生ボランティア活動について、「東日本大地震災害活動報告会」を実施。
- ・6月24日に、本学学生のボランティア団体「SOKUS」のメンバーが、宮城県で行ったボランティア活動の報告会を実施。
- ・7月7日に、附属高松小学校から、東松島市立野蒜小学校へ小学生用学用品の支援を実施。
- ・被災した学生に対する経済支援として、「入学料免除」、「授業料免除」、「日本学生支援機構奨学金」、「学生短期貸付制度」の各制度があり、7月8日付で被災地出身学生1名に対して「入学料及び前期授業料の免除」を実施。
- ・10月11日に、文部科学省の「子どもの学び支援ポータルサイト」を活用し、教育学部附属高松中学校から福島県会津若松市のNPO法人寺子屋方丈舎元気玉プロジェクト事務局物資班へ色鉛筆（24色セット）30個を送付し支援を実施。
- ・10月29日に、「チーム香川 STUDENTS（香川大学医学部学生 ICLS 勉強会を中心に災害医療に関心のある香川大学医学部生有志）」が主催し、東北地方の大学から災害支援に従事してきた東北大学、福島県立医科大学及び福島大学の医療系学生7名を招待し、これまでの支援について活動報告会を開催。
- ・11月10日に、一般社団法人国立大学協会が、全国公募した「震災復興・日本再生支援事業」において、本学瀬戸内圏研究センター及び医学部から申請した「遠隔医療技術を用いた震災地域の医療再生プロジェクト」が採択された。  
本事業は、震災により機能を停止した地域の医療体制を、最新の通信技術を用いた遠隔医療、在宅医療、電子健康手帳（EHR／PHR）を導入し、再構築させることを目的とした事業である。
- ・全国医学部長病院長会議において、被災地の要請に基づき、被災地医療支援を実施することが決定し、「中国・四国地区」の大学病院は、岩手県からの要請により、まず、岩手県立高田病院（仮設診療所）に整形外科の医師を10月から3月の半年間、各大

学病院で期間を割り振り、医師派遣を実施することとし、本院からは、整形外科医員1名を11月14日から11月18日まで派遣を実施。

- ・12月16日に、東日本大震災により被災した平成24年度入学志願者に係る検定料について、免除を行うこととした。

- ・4月23日に、一般社団法人国立大学協会が、全国公募した「震災復興・日本再生支援事業」において、本学瀬戸内圏研究センター及び医学部から申請した「遠隔医療技術を用いた震災地域の医療再生プロジェクト」が昨年度に引き続き、採択された。

- ・5月31日付けで、文部科学省より、東日本大震災にともなう被災地のニーズと全国からの支援を結びつけるポータルサイト「東日本大震災子どもの学び支援ポータルサイト」を通じて、被災地の子どもの学びの環境の確保に貢献したとして感謝状が贈呈された。